

多様なひとの力が生きるまち

ダイバーシティ推進の強化

1億5028万円

本市のさまざまな施策を検討・実施する際に盛り込むべきダイバーシティの視点などを取りまとめた「仙台市ダイバーシティ推進指針」に基づき、誰もが安心して住み続け、活躍できるまちづくりを進めます。ダイバーシティへの理解促進やダイバーシティまちづくりに向けた機運を醸成するため、市民参加型のイベントを開催します。また、災害リスクなどの情報の読み上げに多言語で対応したスマートフォンアプリを導入するなど、デジタル技術も活用しながら、



ダイバーシティについて知り、多様性を体感できるイベントを開催します

障害のある方や外国人など誰もが情報にアクセスしやすい環境を整備します。

避難行動要支援者に係る個別避難計画の作成推進

5088万円

災害対策基本法に規定する、高齢者や障害者などの避難行動要支援者に対する支援を推進するため、避難行動要支援者名簿の調製や同意確認のほか、個別避難計画の作成などを行い、災害が発生した際の速やかな避難支援体制の確保につなげます。

プロジェクト推進

3870万円

ダイバーシティ推進の一環として、今後増加が想定される外国人住民の実態調査や地域交流の取り組みを行うほか、性別、年齢などの「ちがいが」を新たな技術開発やサービスにつなげるジェンダー・イノベーションの考え方を取り入れた官民連携によるダイバーシティ推進に関連した実証実験などを行います。

戸籍住民課における外国人対応の強化

2195万円

外国人の方が安心して仙台での暮らしを始められるよう、携帯型デジタル翻訳ツールを全ての住民登録窓口に対応し、窓口対応を強化します。また、外国人の転入者が増加する時期に合わせて、全市の外国人の住民登録に特化した（仮称）仙台市外国人住民登録センターを市内中心部に臨時開設します。

男女共同参画の総合的推進

7億5874万円

性別にかかわらず個性と人権を尊重し合い、能力を発揮できる社会づくりに向け、男女共同参画を推進する取り組みを実施します。女性の活躍推進に関するイベントなどを実施するほか、企業における女性の管理職などの登用に向けた啓発や人材育成支援を行います。また、性の多様性の理解促進と性的少数者支援の取り組みとして、情報発信や居場所づくり事業の実

※4～9ページの主要事業では、一部の事業費の中に、再掲分が含まれます
※金額はいずれも1万円未満切り捨て

ユースチャレンジ推進

1771万円

誰もが心豊かに暮らし続けられる市民協働のまちづくりを進めるに当たり、次期「仙台市協働まちづくり推進プラン」を策定するため、次世代のまちづくりの担い手である若者から意見を聞くワークショップを実施します。また、若者団体から身近なまちづくりに関する事業の提案を募集し、協働で取り組むなど、若者のアイデアを生かしたまちづくりを進めます。

ヘルスケア向上推進

40億6733万円

持続可能な医療体制の確保に向け、オンライン診療で用いる診療カーの稼働期間を延長するとともに、新たな機器の導入などにより、幅広い患者に対応できる体制を構築します。個人の健診結果や歩数などの情報を活用し、一人一人の健康状態や生活習慣を踏まえながら健康づくりを推進します。

市が取り組む重点分野と主要事業について紹介します

介護予防・日常生活支援総合事業

34億8270万円

ボランティアや介護・フレイル予防などの活動に応じて市内の店舗での買い物などに使用可能なポイントを付与するアクティブシニア・ボランティアポイント制度を実施し、高齢者の社会参加や健康寿命の延伸を後押しします。介護予防や生活支援サービスの提供のほか、介護予防活動を行うサポートの育成、地域の介護予防自主グループの活動支援などに取り組めます。



身体機能の改善や運動の習慣化のための教室数を拡大するなど、介護・フレイル予防の取り組みを推進します

高齢者保健福祉の推進

61億2427万円

高齢者の社会参加の促進をはじめ、eスポーツの体験会などの生きがいや健康づくりに関する活動への支援、生活支援体制づくりなど、住み慣れた地域で安心して生

認知症の人と家族が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らせる共生社会づくり

130万円

認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズなどと支援者をつなぐ仕組み「仙台版チームオレンジ」を設置するなど、認知症の方と家族や認知症サポーター、パートナーが一体的に活躍できる地域づくりを進めます。また、「認知症とともに希望を持って生きる」という新しい認知症観の普及啓発を推進します。

障害者保健福祉の推進

417億3141万円

共生社会の実現に向け、障害理解や社会参加の促進、就労支援など、各種施策に取り組みます。医療的ケア児や重症心身障害児などへの支援を充実させるため、受け入れ施設の開設費補助を拡充するほか、医療的ケアが必要な方を



障害のある方の芸術活動の普及と振興を目的とした作品展の開催などにより、障害理解の促進を図ります

多職種チームによるアウトリーチ支援

2386万円

精神科治療を中断した方や未治療の方、ひきこもり状態で医療的支援を必要とする方、自殺未遂者などに対して、精神科医などを含む多職種チームによるアウトリーチ支援を行います。

ヤングケアラー支援

1220万円

ヤングケアラーの早期発見・支援につなげるため、ピアサポートなどの相談支援体制の構築や、オンラインサロンの企画運営を行います。また、認知度の向上に向けて、小・中学生への広報啓発や、

支援者へのリーフレット配布を行うとともに、ヤングケアラーのいる世帯へ家事などを行うヘルパーを派遣し、児童の心身の負担軽減を図ります。

医療政策推進

11億9057万円

急な病気やけがに関する市民の相談に対して、受診可能な医療機関の案内や、応急処置の助言などを行う救急医療電話相談（#7119）について、相談時間を毎日24時間に拡充し、受診相談体制の充実を図ります。高齢化や多様化が進む中、市民が必要な医療を受け続けられるよう、適切な受療行動などを促す周知啓発を強化するなど、医療政策推進に向けた取り組みを実施します。

その他の主要事業

● 多文化共生推進

5535万円

● 介護サービス基盤整備・介護人材確保

5億3554万円

● 地域福祉の推進

9億7529万円

● 地域安全対策

7099万円

● 交通安全対策

32億3079万円